

おもいたび

# 和紙で残す、想結旅。

跡見学園女子大学 チームmimat

分析と考察



プラン



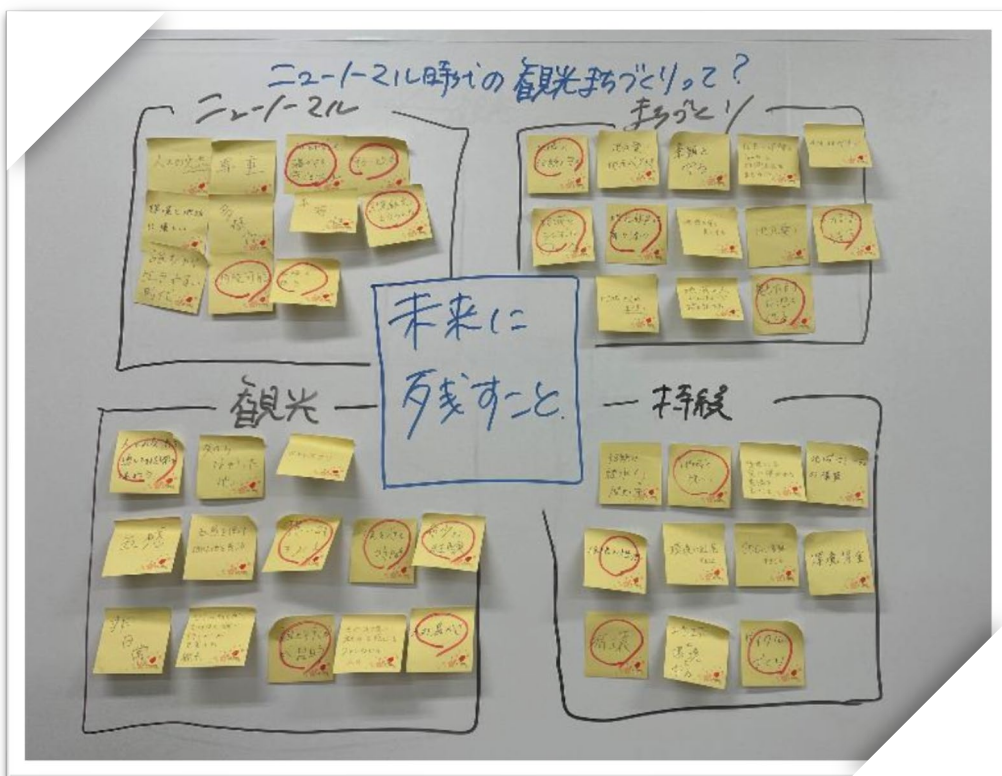
プロモーション



まとめ

# 分析と考察

# 私たちが考える ニューノーマル時代における観光まちづくりとは、 未来に残すことです。



## 9月3日 小川町との会議 内容

①活用したい資源・魅力はございますか

佐藤さんの見解としての魅力と資源  
・東京から電車で一本で行けること  
・自然があること

### ・和紙

- ・酒蔵 (まつおか、せいうん、むさし)
  - ・有機農業 = 都心の人が求めて来訪する
  - ・古い建物のリノベーションが進んでいる
- 例) 2021.4月 観光案内所 むすびめ  
双葉書店? のリノベーション  
石倉 (役所の近く) がコワーキングスペースに

リノベーションされたところはエコ

自然 (→都内から電車で一本という行きやすさ)、和紙、酒造、有機農業 (都内から求めて来る人が多い)  
古い建物 (むすびめ) のリノベーションが行われている

### 石蔵 (コワーキングスペース)

→NESTO コワーキングスペース  
約100年前に建てられた大谷石製の石蔵が、この5月にコワーキングスペースとして生まれ変わる。かつてはタバコ、絹の保存庫として使われていた県内最大規模の石蔵だったが、コロナ禍という特殊に転換地点を迎え、都心のビジネスマンも地方でゆっくりと働けるサテライトオフィスとしても、また地域の仕人が交流できるイベントスペース、カフェとしても、様々なニーズに合った“悪い”の空間は「まちのロビー」として、自分らしい働き方と暮らし方を見つけるきっかけの場になる。

ヤオコー (当時は八百屋) やしまむら (当時は興飯店) の創設者は小川町出身

それぞれの想いを結び

魅力とともにまちを未来に残す

まちづくりを私たちは実現します。

選定地域は埼玉県小川町です。

なぜ小川町なのか。



メンバー Yちゃん

学校の行事で紙漉きをした経験があり

小川和紙の素晴らしさ、人の温かさが心に残り続けて

大人になったら家族と訪れたいと想っていたからです。

# 埼玉県小川町とは

都心から電車で1本。🚆

伝統産業、歴史、文化を有していることから  
「**武蔵の小京都**」と呼ばれています。



# ＼小川町にはこんな素敵なものがあります／





# 小川町でのフィールドワークを通じて

## 小川町だからこそ

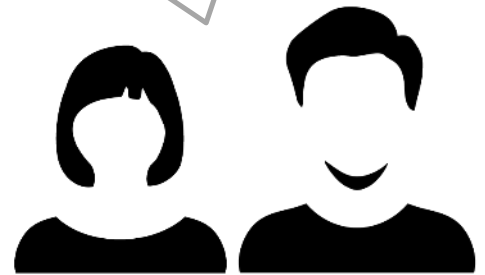
### 十人十色の思い出が残せると実感しました！



# 3つの課題を知りました・・・

- ①小川町には**シンボルがなく**  
訪れた時の高揚感が欠けています。
- ②小川町は高齢層からの支持はありますが、  
**家族連れや若者などの呼び込み**ができていません。
- ③小川町を**周遊**する観光客は少ないです。

町役場の方



# しかし、魅力もあります！

特に「**小川町七夕まつり**」は思い出が深いです。

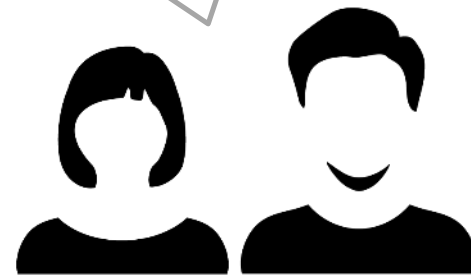
和紙で作る竹飾りが飾られ、屋台、花火、みこしなど

これを目的に観光客が訪れることが多いです！

地元住民にも馴染みがあるまつりで

当日のワクワク感は、本当にすごいです！！

町役場の方





## 魅力ある、 小川町七夕まつりとは

戦後、苦境に陥った  
和紙産業の復活のためにできました。

まちの想いが結ばれ

小川和紙は1300年を超えて、

残り続けています。

小川町にワクワクをもたらし

まちを残してきた

小川和紙こそ、未来に残すまちづくりに

最適な資源だとおもいませんか？

# 私たちが課題を解決します！

① **小川町＝和紙**のイメージを定着させます！

② **若者が家族と訪れる**循環をつくります！

③ **和紙を活用した周遊**の仕組みをつくります！

私たち



プラン

ターゲットは・・・

関東圏に住む  
家族に親孝行をしたい新成人



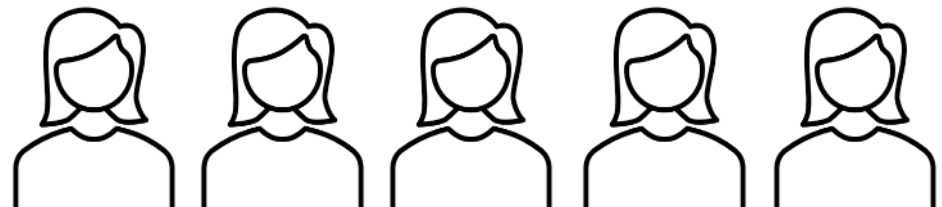
# なぜ、新成人なの？

私たちの心に残り続ける瞬間は「新成人」

残したいのは「親孝行の瞬間」です。

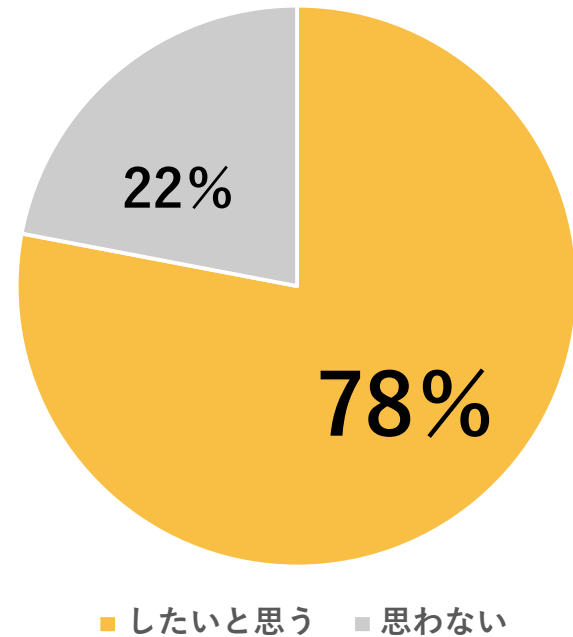
だからこそ、ターゲットに決めました！

私たち



20代で  
親孝行をしたい人は  
約8割います。

親孝行をしたいですか？  
(20代)



しかし・・・

私たちが新成人の時  
親孝行の方法が分かりませんでした。

そこで、私たちが  
**親孝行の方法を考えます！**

私たち



小川和紙を灯し、食べ、書き、想いを結び、残す

「和紙で残す、<sup>おもいたび</sup>想結旅。」

を提案します。

**残せる招待状**



**想いを残す和紙ランプ**



**記憶に残る初めてのお酒と和紙**



**思い出を残す和紙レター**



**未来に届く、残した思い出**

# 残せる招待状

申込後、小川町から自宅に招待状が届きます。

思い出が自宅に残るよう、

あなたの大切な家族写真と当日の写真が貼れるようにします！

小川町 招待状受付  
フォーム

必要事項をご記入のうえ、ご登録くださいませ。

アカウントを切り替える

 \*必須

メールアドレス\*

メールアドレス

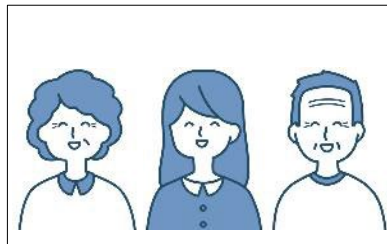
お名前\*

回答を入力

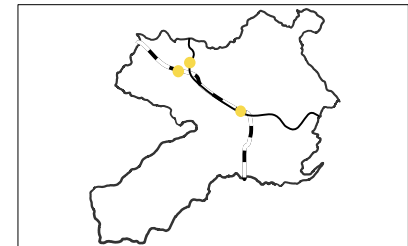


お父さん・お母さん  
いつもありがとう。  
私からのサプライズ！  
一緒に行こう！

20歳の娘より



MAP



当日の写真

家族と小川町に行こう。



# 想いを残す和紙ランプ

相手のために自ら漉いて和紙をつくります。

想いを込めた和紙ランプは  
あなたの想いを伝えるツールです。

自宅に思い出を残し続けてくれます。





小川町の花である  
「福寿草 -ふくじゅそう-」を  
ランプに飾ります。

花言葉は  
永久の幸福・思い出です。

# 記憶に残る初めてのお酒と和紙

うどんと一緒に、  
こうぞ 檜の天ぷら、初酒を  
いただきます！



こうぞ

楮は「和紙の原料」

小川町では「かず」と呼びます。



和紙作りの最初の工程「かずかしき」で使われるのが楮こうぞです。

楮こうぞのうち、葉は原料とならずに残ってしまいます。

そこで、「**かズの葉 天ぷら**」をつくります。

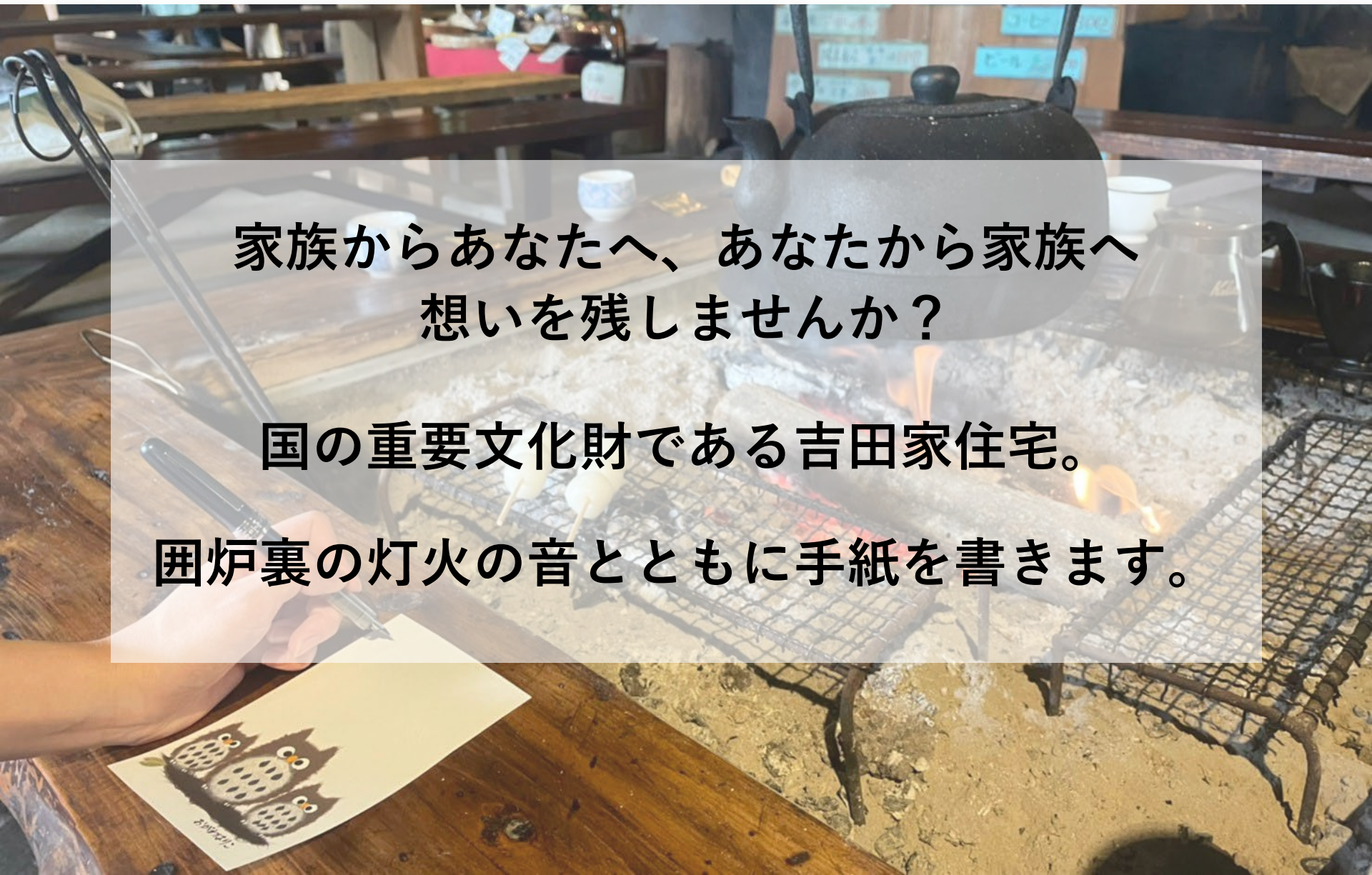
初めて、お酒と和紙をいただく。  
大切な瞬間を  
小川町で結び、記憶に残します。



# 思い出を残す和紙レター

家族からあなたへ、あなたから家族へ  
思い出を残しませんか？

国の重要文化財である吉田家住宅。  
囲炉裏の灯火の音とともに手紙を書きます。





**年数を選び**

**手紙をポストに投函します。**

**小川町の思い出に浸りつつ**

**手紙が届く数年後を楽しみに**

**今日は帰宅します。**

**タイムカプセル郵便を**

**利用します。**



小川町での思い出が  
家族の心に残り続ける  
プランになりそうですね！

この機会をきっかけに  
みなさんが訪れてくれる  
未来を望みます。

吉田家住宅 管理人様

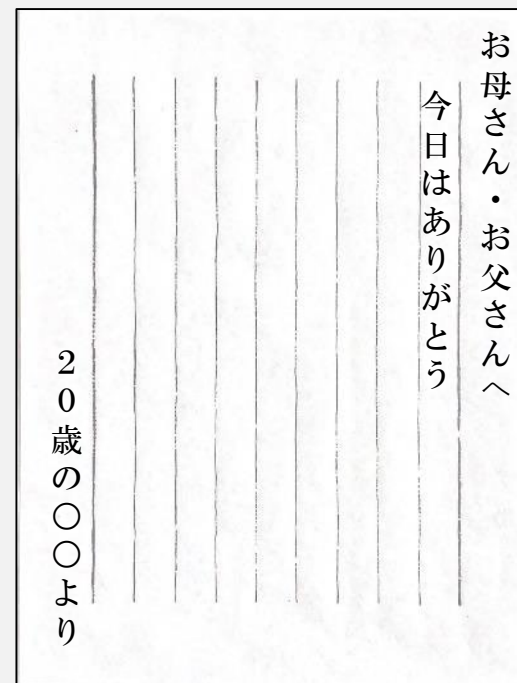
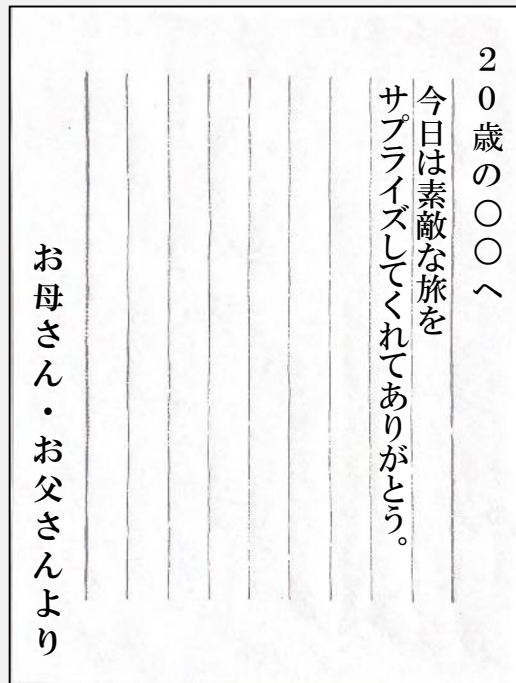
数年後 …

社会人になった時  
家族から手紙が届きます。



# 未来に届く、残した思い出

家族からの手紙を読み返すと  
残した思い出が懐かしい…



An aerial photograph of a town nestled in a valley, surrounded by lush green forests and rolling mountains in the background. The town features a mix of residential houses and larger buildings, with a prominent road or railway line cutting through the center. The sky is clear and blue.

懐かしい思い出が蘇ると  
再び、訪れたくありませんか？

大切な思い出の場所に  
小川町がなります。

小川町観光協会（小川町役場にぎわい創出課）様  
に全面的にご協力いただきます。



# ご協力いただいた皆様 本当にありがとうございました！

- ・ 小川町役場にぎわい創出課の皆様
- ・ 埼玉伝統工芸会館の皆様
- ・ 吉田家住宅の皆様
- ・ 小川町観光協会の皆様
- ・ 道の駅おがわまちの皆様
- ・ 想いを伺った皆様



プロモーション

# 大学内にポスターを掲示

**私たちが**作成したポスターを  
大学内に掲示することで  
新成人にプランを広めていきます。

**より広く拡散するために・・・**

和紙で残す、  
想結旅-おもいたび-

埼玉県小川町が誇る和紙。  
その和紙に触れながら、ここまで育ててきてくれた家族に  
感謝を伝えてみてはいかがでしょう。

場所 埼玉県小川町  
対象者 親孝行したい新成人



↑お申込みはこちらから↑



ともす                      たべる                      かく

主催 小川町観光協会(小川町役場にぎわい創出課)

# Instagram リール

15秒～30秒の縦動画の  
投稿・視聴ができる機能です。

**私たちが**  
**宣伝媒体**になって

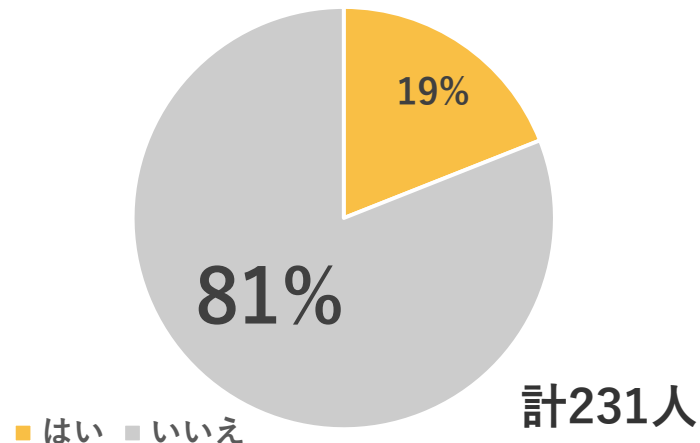
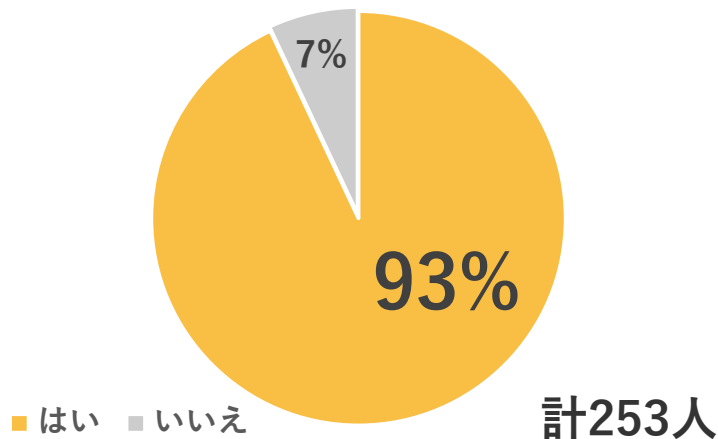
想結旅をストーリー展開します。



フォローしていないアカウントのリールを閲覧する人は8割以上！

フォロワー以外まで拡散でき、  
広範囲へのプロモーションができます。

①リールを見たことがありますか？      ②閲覧するリールをフォローしていますか？



10代～20代 男女へのアンケート結果（Instagramアンケートにて私たちが実施）



若者は、思い出をSNSで残すため、  
自ら小川町を広めるメディアになってくれます。

こうして  
小川和紙を含めた  
まちの魅力が世界に広がります。

まとめ

## 課題

- ①小川町にはシンボルがなく、訪れた時の高揚感が欠けている。
- ②家族連れや若者などの呼び込みができていない。
- ③小川町を周遊する観光客が少ない。

## 解決方法

- ①小川町＝和紙のイメージを定着させる。
- ②若者が家族と訪れる循環をつくる。
- ③和紙を活用した周遊の仕組みをつくる。

## 新規性

- ①和紙を資源、食材としてコンテンツ化。
- ②自分ではなく、相手を主役にする新形態の観光。
- ③手紙を使用して、あなたとまちの想いを残す。

## 効果

- ①小川町＝和紙のイメージを定着。
- ②小川町が心に残り続ける思い出のまちになり、再び、思い出を残しに訪れる。

おもいたび

# 和紙で残す、想結旅。

このプランは  
小川和紙で想いを結び、小川町を残すものです。

日本の伝統は、人々の想いのために寄り添い  
まちを未来に残してくれます。

私たちは  
想いを結び、未来にまちを残すことが  
ニューノーマルになると強く信じています。